

## 行政報告の主な内容（8課25項目）

- (1) 総務課
  - ・新補助執行体制
  - ・国勢調査
  - ・全国町村長大会等
  - ・表彰式
  - ・栄典関係
  - ・指定管理者の選定
  - ・北海道火山サミット
  - ・札幌・上富良野会総会
  - ・北海道・アルバータ州姉妹都市連絡会議
  - ・カムローズ市との友好都市提携延長盟約
- (2) 行政改革推進事務局
  - ・市町村合併「道構想」等
  - ・広域行政「プロジェクト中間報告」
- (3) 企画財政課
  - ・自衛隊関連行事
  - ・防衛関係中央要望
  - ・石狩川サミットと防災講演会
- (4) 産業振興課
  - ・日韓観光文化交流ツアー
- (5) 保健福祉課
  - ・ケアハウス民間移譲
  - ・保健福祉総合センターの利用実績
- (6) 町民生活課
  - ・ダイオキシン類測定結果
- (7) 町立病院
  - ・泌尿器科新設
- (8) 教育振興課
  - ・図書館オープン
  - ・総合文化祭
  - ・清富小学校閉校合意
  - ・上富良野高校落成記念式
- (9) 総務課
  - ・建設工事発注状況

# 行政報告

(平成17年12月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第4回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る9月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

## (総務課行政報告)

まず初めに、これまで、永年私の片腕としてご尽力賜った植田助役、また樋口収入役が9月30日の任期満了をもってご勇退いただき、10月1日より、収入役の事務を兼掌する形で田浦助役に就任いただき、新たな補助執行体制をスタートしました。

次に、10月1日を調査基準日に全国一斉に実施した国勢調査は、人口減少社会を迎えつつあるわが国の人口・世帯の最新の実態を明らかにし、国や都道府県・市区町村の行政の基礎資料として少子高齢社会への取組や町づくりに生かされるものであります。

当町の調査結果は速報で、世帯数4,535戸、総人口12,352人、うち男6,315人・女6,037人となっております。

次に、11月29日から上京して、災害復旧事業促進全国大会、全国観光地所在町村協議会総会、その後東京ふらの会総会、翌30日には全国町村長大会にそれぞれ出席してまいりました。

特に、全国町村長大会においては、真の地方分権を推進するため、3兆円規模の税源移譲の確実な実施、あわせて地方交付税の持つ財源調整・財源保障機能の堅持などについて、緊急重点の課題として決議してまいりました。

次に、11月3日、菅野學名誉町民はじめ多くの皆様のご列席をいただき、平成17年度の町表彰式を挙行いたしました。町の関係では自治功勞

賞 2 名、社会貢献賞 4 名、善行表彰 1 団体と 1 名、勤続表彰 17 名、国保優良家庭 4 名の表彰をさせていただき、さらに感謝状を 1 団体と 2 個人に贈呈いたしました。

また、教育委員会関係では、文化賞 1 名、文化奨励賞 1 名、スポーツ賞 2 名、スポーツ功労賞 1 名、スポーツ奨励賞 1 団体 6 個人の表彰をしたところであります。

次に、国の栄典受賞では、11 月 3 日発令の春秋叙勲で地方自治功労者として小野三郎氏が旭日双光章を、また危険物業務従事者叙勲では防衛功労者として、伊藤士志美氏、岩波敬之氏、大橋初夫氏、宮垣一氏の 4 氏が瑞宝単光章を受賞されましたので、町からの受賞お祝い金を各受賞者にお渡しし、お祝いを申し上げました。

また、上川南部消防事務組合関係では、消防功労者として前田光弘氏が、瑞宝単光章を受章されております。

褒章関係では、林春雄氏が 9 月 28 日発令で、紺綬褒章を受章され、伝達式を明年 1 月 6 日に行うこととしております。

叙勲関係【平成 17 年 11 月 3 日発令】

【旭日双光章】地方自治功労

小野 三郎 (76) 元上富良野町議会議員

【瑞宝単光章】防衛功労

伊藤 士志美 (61) 元 3 等陸尉 富町 1-7-7

岩波 敬之 (61) 元准陸尉 本町 5-6-14

大橋 初夫 (61) 元准陸尉 南町 1-2-23

宮垣 一 (61) 元 3 等陸尉 新町 3-4-35

上川南部消防事務組合関係

【瑞宝単光章】消防功労

前田 光弘 (71) 元上富良野消防団団長

錦町 1-1-26

褒賞関係

【平成17年9月28日発令】

【紺綬褒章】

林 春雄(83)宮町3丁目9番

次に、日の出公園施設、吹上温泉保養センター及び上富良野パークゴルフ場の3施設について、平成18年4月1日から指定管理者制度による運営に移行する方針の基に、10月11日から1ヶ月間、指定管理者希望者の募集を行ったところであります。

日の出公園施設及び吹上温泉保養センターは各1団体、上富良野パークゴルフ場は2団体の応募があり、以降、3回の選定委員会を開催して3施設の指定管理者候補者を選定いたしました。

なお、今定例町議会に、3施設の指定管理者の指定について議案を上程いたしております。

次に、10月17日、18日に開催されました「北海道火山サミット」についてであります。北海道内の常時観測5火山の火山防災会議協議会や関係機関の取組状況報告、講演会、シンポジウムが行われ、各火山防災会議協議会の代表首長とともに「北海道火山防災サミット札幌宣言」を行い確認してまいりました。

次に、10月28日、札幌・上富良野会の総会が開催され、西村副議長はじめ町内関係者とともに出席してまいりました。

花輪会長をはじめ、札幌近郊に在住される当町にゆかりのある方々とお会いすることができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。

次に、11月17日、カナダ・アルバータ州内の自治体と姉妹提携を結んでいる道内9町による「第14回北海道・アルバータ州姉妹都市連絡会議」が当町を会場に開催しました。

会議には、9町の町長や助役をはじめ、国際交流担当職員のほか、オブザーバーとして北海道国際課、北海道カナダ協会、北方圏センターの担当者、さらにカナダ側から、アルバータ州・日本姉妹都市会議を代表して、当町と友好都市提携を結んでいるカムローズ市のミチコ・ラスムセン氏の出席をいただき、国際交流の現状や将来について意見交換をしたところでありました。

また、1985年、カムローズ市と友好都市提携を結んでから、本年は20年という記念の年を迎えましたことから、先方と調整を図り、友好提携記念日の9月5日の日付をもって、友好都市提携延長盟約書を取り交わすことといたしました。

これまでの友好関係を基に、さらに友好の絆を深めていくことを確認したところでありました。

#### (行政改革推進事務局行政報告)

次に、市町村合併につきましては、去る10月7日に北海道が進めている合併推進構想に関する意見を聞く地域懇談会が、10月13日には住民を対象とした地域説明会が開催されました。

それぞれの会議では、北海道の基本的な考え方として「市町村合併はあくまでも市町村が住民の意向を踏まえて自主的に判断するもの」とし、「旧合併法を引継ぐ合併新法は5年間の時限立法で、合併協議に十分な時間をかける必要があることなどから、平成18年度の早い時期に合併推進構想を策定する」計画で、合併の規模としては住民サービスの視点で3万人程度、行財政効率化の視点で5万人程度、合併新法の期間内での実現をめざすことなどが構想のたたき台として示されています。

また会議では、北海道の取組み姿勢、各市町村の合併協議経過、北海道町村会で検討中のグランドデザインなどの意見が出され、道内7箇所で開催

催の地域懇談会・地域説明会の意見を構想づくりに活かしていく考えが示されており、

次に、広域行政についてであります、今年5月に富良野地区広域市町村圏振興協議会内に設置しました「自治のかたち検討プロジェクト」の中間報告がまとまり、10月14日に報告を受けました。

この中間報告書では、富良野圏域の目指すべき将来像を「5つ星の自治を求めて～住民や地域が支えあい助け合う持続可能な自治」とし、団体自治のかたちを「市町村連携・広域連合・市町村合併・広域都市」の4つとし、その具体的な内容は年度末の最終報告までの間に調査検討することになっております。広域で担うことが望ましい事務事業については、「消防・消費者センター・介護・国保・制度医療など」として引続き協議し、また、北海道からの事務事業・権限移譲については、「北海道と市町村との共同処理体制の構築に向けて調査検討する」ことになっております。

この中間報告書は、9章64頁からなる本編と10項目103頁からなる資料編で構成されております。情報を共有する観点から行政情報提供コーナーやホームページにも掲載し、議会へ複数部配布しております。また、このプロジェクトの取り組み状況については、6月号広報誌からシリーズで掲載し、中間報告の概要は11月号広報誌で掲載してお知らせしております。

今後は、広域で担うことが望ましい事務事業について今月中に富良野沿線5市町村長へ再度の協議を受けることになっております。

#### （企画調整課行政報告）

次に、自衛隊関係であります、10月3日には、第2戦車連隊創立10周年記念及び多田弾薬支処創立49周年記念式典に、また10月15日と翌16日には、北部方面総監部音楽祭・北部方面総監部53周年祝賀会が行われ、北海道知事をはじめ道内選出の国会議員他、自衛隊協力団体の皆様と

共に出席しお祝をしてまいりました。

また、防衛施設周辺整備事業関係であります。北海道基地協議会要望運動を11月24日から25日に各市町村長役員同行のもと、平成18年度の事業要望を防衛庁長官、副長官、政務官、総務省、財務省、防衛庁防衛施設庁に行つてまいりました。

次に、11月4日、石狩川流域48自治体の市町村長の会議であります「石狩川サミット第8回上富良野サミット」が当町を会場に開催されました。

石狩川サミットは、2年に1度「川からのまちづくり」を基本テーマとして、流域のそれぞれの自治体、地域においてまちづくり、地域づくりを論じる場であり、今回は「住民の安全を考える」「人にやさしい地域モデルを考える」の2つのテーマに沿つて42の自治体の参加により、それぞれから提言が行なわれ、今後の流域全体の各施策に反映するよう確認されたところでもあります。

また、11月3日には、サミット本会議に先立ち、町民の皆様を対象として、サミットと同じテーマである「住民の安全を考える 十勝岳噴火のシナリオとハザードマップ」と題し、NPO環境防災総合政策研究機構専務理事で北大名誉教授の、宇井忠英教授<sup>ういただひで</sup>をお招きし、防災講演会を開催したところでもあります。

講演会には、町民の皆様をはじめ駐屯地など各関係機関から約170名の参加をいただき、防災への認識を新たにしたところでもあります。

#### (産業振興課行政報告)

次に、観光関係では、富良野・美瑛広域観光推進協議会事業の一つとして、10月20日から4日間の日程で『日韓観光文化交流ツアー』を実施、韓国からの直行便による120名の皆様を旭川空港にお迎えし、空港内で行われた歓迎到着式に出席してまいりました。その後、韓国の皆様には、富

良野圏域の観光を楽しんでいただいたところであります。

また、こちらからも同日程で、169名の皆様が訪韓し、隣国の文化に触れ、交流を深めてまいりました。

訪韓中実施した、現地でのアンケート調査においては、北海道のイメージとして『自然・景色』、『温泉』という回答が最も多かったことから、今後における観光客誘致の参考にしてまいります。

#### (保健福祉課行政報告)

次に、懸案でありました軽費老人ホームの民間社会福祉法人への移譲につきましては、現状の施設が果たす役割を継続できること、また地域の高齢者等福祉対策の担い手となり得ることを前提に、地元法人への移譲を基本として検討を進めてきたところ、町内の社会福祉法人がその受け皿となる意向が明確になりましたので、各種の協議を進めてまいりました。

町といたしましては、移譲環境の整備を進め、応分の負担を含めた移譲方針を定め、今定例町議会に関係議案を上程いたしておりますので、議員各位のご理解を賜りたいと存じます。

次に保健福祉総合センター「かみん」につきましては、昨年の11月開設以来、多くの町民の皆様にご利用いただき、開設から1年間の利用は、総数で10万7千161人、月平均では8,930人となったところであります。特に、健康づくり施設としての歩行浴プールの利用は、36,972人、月平均3,081人となっております。

また、最終計画の外構整備につきましても、特定防衛施設周辺整備交付金を活用し現在整備中であります。

今後とも町民の皆様の健康づくり、福祉対策の拠点として十分な機能を発揮するよう勤めてまいります。

### （町民生活課行政報告）

次に、クリーンセンターにおけるダイオキシン類測定結果については、今年度も、4月及び10月の2回、定時測定を実施し、いずれも基準値以下の結果となっております。

今後におきましても安全な維持管理のもと運営してまいります。

### （町立病院行政報告）

次に、北海道社会事業富良野協会病院との連携により、10月から隔週1回半日で開設をいたしました、泌尿器科診療につきましては、11月末日までの2ヶ月間、計5回の診療で202名という予想を上回る受診者がありました。その内、新患が41%をしめているところであります。

特に高齢者からは、冬季に向かっての通院時間の短縮が図られたことを喜んで頂いているところであります。

### （教育振興課行政報告）

次に、町民待望の図書館が、愛称「ふれんど」として10月16日にオープンいたしました。

オープン後の利用状況であります。11月末時点において、来館者数延べ5,469名、貸出冊数11,227冊、新規図書貸出登録者数242名と、前年同期と比較して利用者数で約3倍増となるなど、子どもから大人まで幅広くご利用をいただいております。

これからも、多くの町民に親しまれる図書館として充実に努めてまいります。

次に、第42回を迎えました町総合文化祭についてであります。11月3日から6日までの4日間にわたり、社会教育総合センターを会場に開催いたしました。

日頃の文化活動の発表の場として、文化連盟をはじめ多くの皆様の作品

展示や芸能発表などが行われ、期間中 3,433 人の町民の参加をいただき盛会のうちに終了することができました。

次に、町立清富小学校では、平成 17 年度に入り 6 名の児童で学習活動を行ってまいりましたが、転校児童が相次ぎ、10 月 1 日から在校児童が 3 名となり、来春は、6 年生 1 名が卒業し、新入学児童の予定もないため、在校児童は 2 名となることが予測される事態となりました。

地域においては、保護者や住民との話し合いを重ねた結果、平成 18 年 3 月 31 日をもって、清富小学校の閉校について合意がなされ、先般、その申し出をお受けしました。

昭和 9 年開校以来 70 年に及ぶ歴史ある清富小学校がなくなることは、極めて残念なことでありますが、今定例町議会において関係議案を上程いたしておりますので、議員各位のご理解を賜りたいと存じます。

今後において、地域住民の意向を十分に聞きながら、施設の利活用を検討してまいります。

次に、道立上富良野高等学校につきましては、念願の新校舎、新体育館が完成し、10 月 15 日に校舎落成記念式典及び記念祝賀会が開催され、関係者とともに喜びを分かち合ってまいりました。

今後は、教育内容の一層の充実を願うところではありますが、少子化の進展による中学校卒業見込者数の減少傾向など、置かれている状況は、非常に厳しい中で、現行 2 間口の維持継続に向けて、町をあげて支援していくことが必要と考えております。

#### ( 総務課行政報告 )

最後に建設工事の発注状況ではありますが、9 月定例議会で報告以降に入札執行した建設工事は、12 月 12 日現在で、件数で 1 件、事業費総額で 2,310 万円となっています。

本年度累計では、42件、事業費総額4億1,387万8,500円となっています。

なお、お手元に「平成17年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。